智慧結び法要 次第

# 無言三礼

# 奉請（散華）

# 表白

みって、、、しては○○のにしてさく。

の○○さんはのびをえにぬかずき、これよりなるのをかる。

ぎわくは、をはじめ、、しては○○のをしい、○○さん、ももやかにしてせしめわんことを。

　○年○月○日　　○誉○○ってす

# 転座

# 説示

○○さん、ご家族の皆さん、○○さん○○学校卒業△△学校入学を迎えての智慧結び法要、まことにおめでとうございます。

この「智慧結び法要」は、浄土宗をお開きになった法然上人にあやかり、御仏の智慧を授かり、○○さんの輝かしい未来に向かって歩むために、明るく、正しく、仲よく生きることを誓う法要です。

幼い頃の法然上人は大変頭の良いお子さんとして知られ、その名も勢至丸と仰いました。智慧の仏さまである勢至菩薩に因んで頂戴したお名前です。十三歳の時、ゆえあって一大決心をなされ、比叡山に登りお坊さんになるため勉強を始めます。そして十五歳で正式なお坊さまとなり、十八歳のころには頭角を現し、後に「智慧第一の法然房」とまで呼ばれるに至りました。そして長い間、仏教の勉強と修行を重ねて浄土宗を開き、今日なお多くの人々を導く教えを残されました。

今日の○○学校卒業、△△学校入学を迎えての良き日に当たり、この法然上人のご生涯、ご決心になぞらえ、感謝の気持ちを忘れず毎日を笑顔で「明るく」過ごし、我が身を振り返りながら成長するための道を「正しく」歩み、思いやりと敬いの心をもって「仲よく」生きることを誓い、本尊阿弥陀如来、また智慧の仏さまである勢至菩薩に学業成就をお願いいたします。

今日の智慧結び法要をきっかけに、心豊かな人生を送れるように努力を重ねて参りましょう。

（＊受者に導師の前に出てきてもらう）

# 灌頂洒水（＊洒水器での作法です。水瓶でも構いません）

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀如来様、勢至菩薩様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、大いなる仏の智慧を授かります。それではこれから作法をいたします。合掌をお願いします。

（順三）

おつむを下げてください。

これはこれ阿弥陀如来より給われる勢至菩薩の智慧の水なり。

 南無阿弥陀仏 （灌頂洒水）

（逆一）

# 同唱十念

それでは、学業成就、ならびに身と心の健やかならんことを願って、皆様とご一緒に十遍の南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀如来様、勢至菩薩様にご祈願をしたいと思います。

同唱十念

# 誓いの言葉

　ただ今、○○さんは仏様からの智慧の水を授かりました。それでは、○○さん、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様、また今日お集まりの皆様の前で、誓いの言葉を述べてもらいます。

　（＊受者に「誓いの言葉」を渡す）

では、読み上げてください。

　（＊受者による誓いの言葉）

「のびにあたり、、からとをかりました。のちをれず、をぎて、るく、しく、よくし、にむことをいます。

○○年○月○日　　○○」

（＊お守りと、読んだ「誓いの言葉」を載せた華籠を受者が持ち、導師を先導にして内陣本尊前まで進み、本尊前の三方の上に華籠を置く。その後、本尊前で焼香。受者は元の席に戻る）

# 転座

# 開経偈

# 誦経（焼香）『般若心経』など

（＊この間、導師はお守りへの洒浄作法）

# 祈願

　、○○

　しるのは○○、しるところ○○

# 普済偈

# 同唱十念

# 摂益文

# 念仏一会

# 自信偈

# 十念

# 請護念偈

# 無言一礼

# お守り授与

　（＊導師は本尊前よりお守りを下げ、受者に渡す）

# 挨拶